

支部定例会特別レポート (中部支部イベント)

—中部支部イベント—

ファシリテーション・ガーデン開催!

11月15日に中部支部のイベントが開催されました。2回目の中部支部イベントです。

1回目の反省を生かしたイベントにしたいね、と運営委員を中心に企画しました。参加費もワンコイン (会員 100 円、一般 500 円) で気軽に参加でき、たくさん話し合えるイベントを目指しました。以下に、そのレポートをいたします。

ガーデンな一日

今回は分科会などのセッティングはせず、参加者の話したいことを話し合う OST (オープン・スペース・テクノロジー) の手法を使ったイベントでした。OST には、複数のセッションを花粉をつけて飛び回るバンブルビーやひと休みするバタフライ、困ったチャンのスペースインベーダーも登場します。「この子たちがいるのは、やっぱり庭がいいな。セッション



クロージングの前に、どんなトピックがでたか共有



アイスブレイクでお隣さんと「始めまして」のトーク

ンでは、たとえ話し合いが行われていてもそこから抜けるのも自由、入るのも自由、ひと休みしていても…。」にかく強制されずにリラックスして話し合いができるように庭を演出しました。

出されたトピックは 18。お昼をいただきながらのセッションもありました(これは、アイスブレイクにはぴったり。このお陰でその後のセッションでは話し合いが活発になりました)。

オープニングから昼食までの集いの「光の駅」、セッションが行われる「叡智の庭」「風の庭」「空と赤の庭」、最後には「光の駅」に戻ってクロージングと茶話会を終え、それぞれがまた旅立っていくのです(だんだん『銀河鉄道 999』のような気分になってきていました)。

FAJ 初参加の方やファシリテーションって何? と思っている方々も入って、いきなり OST という手法を使うのは冒険という噂もありましたが、まずはやってみること! と突っ走りました。そんなチャレンジの振り返りをニュースレターを読んでいる皆さんと共有したいと思います。



□□□□□□□□■□□□□□□□□■

などなど、今後に向けてのありがたいふりかえりや、興奮冷めやらない感想などたくさんフィードバックをいただきました。ありがとうございました。

参加者の振り返りレポート

- 各部屋のガーデンの演出がすばらしい! それぞれ個性がありホスピタリティを感じましたよ。
- 自分の考えたことを言えたのが一番よかったです。一つのトピックをきっかけにして、みんなが真剣に考える場が持てたことがよかった。
- 定例会に参加するのは初めてでした。なじみのないトピックに参加してみました。なじみのないものも、身近になりました。初めてでも話し合いに入れたことがよかった。
- 話が盛り上がったので、いつの間にか本音と本気で話していました。ファシリテーションはツールなんだ、ファシリテーションを使って何を実現したいのかを改めて考えさせられました。話し合っているうちにプロセスデザイン
- の仕方も体験、共有できたというおまけもありました。
- オープニングの静かさが不安でした。このさきどうなるの?
- トピックは多いほうが場のダイナミズムが楽しめ、バンブルビーになったりバタフライになる楽しさも楽しめるなあと感じました。
- ファシリテーション初心者には、サポートがつくという前提があると安心するので、トピックを出しやすかったなあと感じました。
- 思いきって、トピックを出してみればよかった…。出せなかったことが心残りです。
- 話し合いが盛り上がりつつ終わる時には、とても充実感がありました。



林 加代子
Kayoko HAYASHI

FAJ 歴〇年。だんだんとお局様になりつつあるような…。いつもフレッシュでいたいと思っています。ゆるゆるのプロセスデザインが大好きです。そんな勢いで住民参加のまちづくりに取り組んでいます。